

研究費総額の見直しについて（案）

平成29年 3月23日
革新的研究開発推進プログラム有識者会議

プログラム・マネージャー (PM)	研究開発プログラムの主な見直し内容	上段：研究費総額の見直し内容
		下段：研究費総額の変更額（百万円）
<p>原田香奈子PM 「バイオニックヒューマノイドが拓く新産業革命」</p>	<p><u>バイオニックヒューマノイド（BH）の手術用モデルとしての「検証（Verification）」と「妥当性確認（Validation）」を評価するプロセスの国際標準化について、提案を検討している国際標準化機構（ISO）の専門委員会（TC）に対する活動を強化する。</u>BHを用いた手術手技の評価についても、BH開発が想定以上に進捗しているため、<u>普及に向けた医学系学会への提案を前倒しして取り組む。</u>また、<u>スマートアーム（SA）のスキルについて、予定していたレベル（手術時の衝突回避等）から、熟練医相当の高度な手技まで搭載することに挑戦する。</u></p>	<p><u>標準化を検討している国際標準化機構（ISO）の専門委員会（TC）に対し、国内委員会への提案だけでなく海外を含む関係者と直接交渉するなど、各国との連携を強化する。</u>BHを用いた手術手技の技術認定について、<u>臓器モデルの活用で先行する内視鏡外科分野のノウハウを取り入れ、手法の開発・学会への提案を進める。</u>画像処理と機械学習により持針や運針などの熟練医のスキルを抽出し、SAに搭載する。</p> <p>1,500→1,600（100増額）</p>